

- ① 新刊書の事前情報です。配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願い致します。
希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきますのでご了承下さい。
③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。併せてご利用下さい。

通巻 **252** 号

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年6月8日配本 定価6264円(本体5800円+税) ニクラス・ルーマン著/土方 透・森川 剛光・渡會 知子・島中 茉莉子 訳 社会の宗教 ★ 『社会の政治』と同じく、ルーマンの没後に編者の手で遺稿がまとめられた。刊行後すぐに社会学者や神学者からの絶賛と批判にさらされた。宗教システム論を扱った『宗教の機能』の刊行から約20年。そのたんなる延長ではなく、オートポイエーシス概念を用いていかに理論を変化させ、展開しているかという点も読者の興味を引くに違いない。 ☆好評既刊書:『社会の法』『社会の芸術』『社会の社会』『社会の科学』『社会の政治』『社会構造とゼマンティック』など。	四六判上製・488頁 《叢書・ユニベルシタス1042》 ISBN978-4-588-01042-2 C3336
-------	----	--	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年6月9日配本 定価4968円(本体4600円+税) ジョン・トーランド 著/三井 礼子 訳 セリーナへの手紙 スピノザ駁論 「運動は物質に本質的である」とスピノザを批判したアイルランドの自由思想家ジョン・トーランド(1670-1722年)。書簡形式で書かれた五つの論考から成る本書は、宗教的支配の源泉にある魂不滅説を習俗の原因から解明するとともに、自然哲学から非物質的存在を排除することで、人々を縛る宗教的恐怖を打破する。ライブニッツやピエール・ベールとの論争を経て彫琢された唯物論的自然哲学の世界が、いま立ち現れる! ☆関連書:J.トーランド『秘義なきキリスト教』、Y.ペラヴァル『ライブニッツのデカルト批判 上・下』。	四六判上製・364頁 《叢書・ユニベルシタス1043》 ISBN978-4-588-01043-9 C1310
-------	----	--	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年6月上旬配本 定価4644円(本体4300円+税) サンドラ・サヴィニョン 著/草野 ハベル 清子/佐藤 一嘉/田中 春美 訳 〈増補新版〉 コミュニケーション能力 外国語教育の理論と実践 文法中心の学習から、コミュニケーション重視の授業へ。今日のグローバル世界で必要とされる外国語教育法を追求し、1983年の初版刊行時から読み継がれてきた言語教育理論書の古典。第二言語を学ぶこと/教えることの意味を社会的文脈のなかでとらえ、実際に授業をおこなう語学教師や教材開発者に有益なノウハウを提示する実践の書。旧版に未収録の部分を増補した、より授業で活用しやすい決定版。 ☆初版好評につき重版決定!! 教師にとって「語学教授法のバイブル」とされる好著。	A5判並製・370頁 ISBN978-4-588-68607-8 C1037
-------	----	---	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年6月24日配本 定価5184円(本体4800円+税) ユルゲン・ハーバーマス 著/三島 憲一・大竹 弘二・木前 利秋・鈴木 直 訳 真理と正当化 哲学論文集 ★★ ハーバーマスが哲学史と対峙する。英米系の分析哲学と、大陸系の政治哲学や社会哲学という、従来掛け離れたものと見なされている大きな二つの流れが架橋可能であることを明快に示す。ローティ、ブランドム、パトナム、フンボルト、ヘーゲル、カントなどを言語論的カント主義の流れをくむプラグマティズムの認識実在論において論じ、ドイツ観念論を分析哲学の用語で書き換える。哲学史の刷新から、さらには理論と実践の関係へ、新たな光を当てる。 ☆関連書:J.ハーバーマス『自然主義と宗教の間』『他者の受容』『引き裂かれた西洋』。	四六判上製・480頁 《叢書・ユニベルシタス1044》 ISBN978-4-588-01044-6 C1310
-------	----	---	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年6月24日配本 予価3672円(本体3400円+税) ヒューバート・ドレイファス+チャールズ・テイラー 著/村田 純一 監訳 実在論を立て直す ★ 20世紀後半から現在に至るまで哲学界に大きな影響力を与え続ける重鎮二人が共同して哲学の根本問題に挑戦した記念碑的作品。コンピュータ、認知科学、心の哲学からマルチカルチャリズム論まで幅広い知見をもつ哲学者が、既存の概念枠への根底的な批判から出発し、人間と世界とに関する新たな見方を明らかにして、自然と人間に関する実在論の理念を、現代の多元的世界のなかで立て直す。 ☆関連書:J.ハーバーマス『真理と正当化』(近刊)、『続・ハイデガー読本』。	四六判上製・320頁 《叢書・ユニベルシタス1045》 ISBN978-4-588-01045-3 C1310
-------	----	--	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年6月下旬配本 予価5184円(本体4800円+税) エマニュエル・レヴィナス 著/ロドルフ・カラン、カトリーヌ・シャリエ 監修/藤岡 俊博・渡名喜 庸哲・三浦 直希 訳 哲学コレーージュ講演集 第二次大戦後のレヴィナスが、1947年から64年にかけてジャン・ヴァールの哲学コレーージュで行った一連の講演原稿を初めて公開。「発話と沈黙」「権力と起源」「糧」「分離」「隠喩」などからなる9本の講演は、それぞれが『実存から実存者へ』『全体性と無限』など主要著作のテーマと緊密につながっており、レヴィナス独自の思索過程を跡づける重要なテキストである。邦訳『著作集』第2巻。 ☆捕虜収容所時代のメモを収録した『第1巻』好評発売中。未刊『第3巻』は小説や詩作品などを収録。	A5判上製・424頁 《レヴィナス著作集2》 ISBN978-4-588-12122-7 C1310
-------	----	---	---

ご担当者様 氏名: [] 担当ジャンル: [] TEL: [] E-mail: []

- * 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
* 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。
* 今後、新刊内容のデータ等を eメールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。